

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公開番号】特開2015-109171(P2015-109171A)
【公開日】平成27年6月11日 (2015.6.11)
【年通号数】公開・登録公報2015-038
【出願番号】特願2013-250778(P2013-250778)
【国際特許分類】

H 0 1 M 4/58 (2010.01)

H 0 1 M 4/14 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/58

H 0 1 M 4/14 Q

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月25日 (2016.11.25)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

負極板は硫酸バリウムを含有し、前記硫酸バリウムは、少なくとも第 1 の粒子群と第 2 の粒子群とを含み、

第 1 の粒子群の一次粒子径は $10\mu\text{m}$ 以下で平均値が $0.3\mu\text{m}$ 以上 $0.9\mu\text{m}$ 以下であり、

第 2 の粒子群の一次粒子径は $10\mu\text{m}$ 以下で平均値が $2\mu\text{m}$ 以上 $5\mu\text{m}$ 以下であり、

前記第 1 の粒子群が、体積頻度基準で硫酸バリウムの全量に対し、28%以上72%以下である鉛蓄電池用の負極板。

【請求項 2】

一次粒子径が $10\mu\text{m}$ 以下の粒子が、体積頻度基準で95%以上である硫酸バリウムを含有する請求項1の負極板。

【請求項 3】

前記第 1 の粒子群が、体積頻度基準で硫酸バリウムの全量に対し、33%以上55%以下であることを特徴とする、請求項 1 または 2 の鉛蓄電池用の負極板。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの負極板を用いた鉛蓄電池。